



八中だより

第4号

令和7年5月15日

府中市立

府中第八中学校

学びと
思いやり

〒182-0035

府中市四谷一丁目二八二七

電話 〇四二(三六四)一八八一

《在籍生徒数》 一学年249名、二学年216名、三学年246名
 全校生徒数711名
 《学校住所・電話番号》
 府中市四谷一丁目二八二七
 電話 〇四二(三六四)一八八一

★夏、熱中症が心配な季節、屋外での活動では躊躇ない安全行動をしましょう！

ふるさと府中をもっと知る『地図からわかること』

校長 高汐 康浩

左下の写真をご覧ください。この写真の撮影場所がすぐわかった人は、かなり、この地域のことをよく知っている人だと思います。この写真の場所は、南町の「府中かば幼稚園」の東側の交差点付近です。

この場所には、子どもの頃の強烈な思い出があります。どのような出来事があったのかについては、後ほどお話しすることにします。まずは、下段の地図をご覧ください。この地図には特徴的な経路の道があることがわかります。アルファベットのJを象(かたど)ったような道(赤線部分)に気がきます。この道はどのようにしてできたのでしょうか。もともとは、この道は鉄道路線でした。JR発足以前の国有鉄道、いわゆる国鉄(こくてつ)の下河原線という路線でした。下河原線は一九〇年に多摩川の砂利(じやり)を運搬する目的で開業しました。ですから、南町付近に終点があったのです。多摩川から採集した砂利は、鉄道建設に使われていました。下の写真の赤線は下河原線の線路があった部分なのです。そして、★印のところには遮断機も警報機もない踏切がありました。今のように線路と線路でない部分は明確ではなく線路内に自由に入るような状況でした。ですから、線路わきで機関車の運転士に手を振ると警笛で応えながら手を振り返してくれるような、なんともどかな雰囲気がありました。(大変危険ですが...)さて、先ほど述べた私の強烈な思い出についてお話しします。ちょうど★の向こう側に線路のポイント(列車の分岐点)がありました。昔のポイントは今と違って手動でした。ポイントのレバーを動かして、必要に応じてポイントのレバーを動かして列



車の進む方向を決めます。小学生だった私や私の友達はその係員の仕事を間近で興味深く観察していました。そのうちに、どうしても自分でも、そのレバーを操作したくなってしまいました。一人でそのレバーを動かそうとしたが、レバーは大変重たく全く動かすことができませんでした。そこで、友達と協力して、そのレバーを動かしました。「こう、何やってるんだ！」突然の大きな声に驚き、その声の方向を見るとこぶしを挙げた係員が走ってきます。私たちはその場から逃げようとしたが、すぐに捕まってしまうました。その後は、こっぴどく叱られました。故に、私たちの行動が大事な遊び半分で行ったこと、危なさを身にしみて感じたのでした。

皆さんには、この機会に地形図で府中のようすを見ることをお勧めします。道路の経路についても特徴的なものがあります。地形に着目すれば、浅間山の山頂に平らな土地になぜ、ふくらみができたのか、私たちの地域のけ上、はけ下といわれる階段状の地形は、どのようにしてできたのか、地名に着目すれば、「四谷」とい地名は新宿区にもあるが関係があるのか、駅名は「分倍」だがあるのか、「分梅」である理由は何かなど、地形図を多角的、多面的に読み取ってみるとたくさん「発見」があるはずです。



(この地図は、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」(C)谷 謙二)により作成したものです。



授業のようす

決定 表現

★五月二日の一年生の英語（曾原教諭・ステイファニーA.L.T.）の授業では、生徒たちは『対話』を通してさまざまな『発見』をしました。『対話』を通して同じ発音の「class」と「breath」の違いに気付いた生徒がいました。指導する教員は、一年生が五十年前前に活躍した「ビートルズ」のメンバーの名前を知っているということに驚いていました。A.L.T.の問いかけに、自分で考えた英語の『表現』をすることもしっかりとできていました。

Topics

◇交通安全の取組に感謝状◇
本校の日頃の交通安全教育に対して、府中市長から感謝状をいただきました。
◇新しい標準服を定める取組開始！◇
令和九年度からの新しい標準服を決める取組を始めました。五十年続く現在の標準服を新しいデザインにします。まずは、生徒会が中心にデザイン案を検討します。

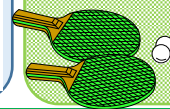


活躍する八中生

【敬称略】

★卓球部★

第9ブロック卓球選手権大会（第一ステージ）
女子団体 優勝 Aチーム（利根川） 藤本、畔上、
第3位 Bチーム（嶺川） 濱田、西野、大島、深澤、中
男子ダブルス 第3位 牛久保 湊士、松尾 信吾
第5位 右田 聖、寺田 透吾
女子ダブルス 優勝 藤本 ゆずな、畔上 夏実
第3位 細井 優莉、大町 夏花
第5位 利根川 花奈、松浦 優那
女子シングルス 準優勝 藤本 ゆずな
第3位 畔上 夏実
第5位 利根川 花奈
第5位 細井 優莉



学校事故対応コーナー No.2 『頭頸部外傷の対応②』



連載で、学校での事故の対応についてお知らせしています。学校外での事故対応にも役立ちますので、ぜひ、内容をご確認ください。

【頭頸部外傷を受けた（疑いのある）児童生徒等に対する注意事項】

出典：独立行政法人日本スポーツ振興センター、令和2年度スポーツ庁委託事業 学校における体育活動での事故防止対策推進事業「スポーツ事故対応ハンドブック（フローチャート編）」（令和2年12月）

- 意識障害は脳損傷の程度を示す重要な症状であり、意識状態を見極めて、対応することが重要である。^{※1}
- 頭部を打っていないからといって安心はできない。意識が回復したからといって安心はできない。^{※2}
- 頸髄・頸椎損傷が疑われた場合は動かさないで速やかに救急車を要請する。^{※3}
- 練習、試合への復帰は慎重に。^{※4}

※1 まったく応答がないときも、話し方や動作、表情がふだんと違うときも、意識の障害です。意識障害が続く場合はもちろん、意識を一時失うことや、外傷前後の記憶がはっきりしない、頭痛、吐き気、嘔吐、めまい、手足のしびれや力が入らない等の症状があれば、脳神経外科専門医の診察を受ける必要があります。頭の怪我は、時間が経つと症状が変化し、目を離しているうちに重症となることがあります。外傷後、少なくとも24時間は観察し、患者を1人きりにしてはいけません。

※2 脳の損傷は、頭が揺さぶられるだけで発生することがあります。意識が回復した後でも、急性硬膜下血腫等の重大な出血が脳に起きている場合があります。

※3 頸部に痛みを訴える、手足の動きが悪い、感覚がない又はしびれる、呼吸がしづらい等の症状がある場合、頸椎や頸髄損傷を起こしている可能性があります。これらの場合、速やかに救急要請をかけます。生命の維持には気道確保が最優先であり、意識がない場合は、まず、そのままの位置で呼吸を確認します。うつ伏せに倒れている場合は、人手が揃うまでそのままの位置で観察します。仰向けの場合は、以下のイラストを参考に、頭側に回り両手で頭部を支えるようにして固定します。



※4 繰り返し頭部に衝撃を受けると、重大な脳損傷が起こることがあります。スポーツへの復帰は慎重にし、段階的競技復帰（GRTP: Graduated Return to Play）のプロトコルに沿って運動を開始します。完全に症状が消失してから24時間経過（ステップ1）したのち、ステップ2の軽い有酸素運動の開始ができます。そこで再発がなければステップ3に進みます。症状が再発した場合は一旦ステップ1に戻り、症状が出現しなかったステップから再開します。このように段階的に運動強度を上げながら、最終的にステップ6まで経たのちに完全な復帰が可能となります。ここでは詳細を解説しきれないため、各競技団体がホームページで公開している情報を御参照ください。また、必要に応じて脳神経外科医の判断を仰ぎましょう。